

平成20年8月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年1月15日

上場会社名 株式会社コシダカ

上場取引所 JQ

コード番号 2157

URL <http://www.koshidaka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 酒井 幹雄

TEL: (027) 280-3381 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年8月期第1四半期財務・業績の概況（平成19年9月1日～平成19年11月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第1四半期	2,791	-	△290	-	△274	-	△284	-
19年8月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
19年8月期	11,332	-	535	-	561	-	134	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年8月期第1四半期	△11,834	42	-	-
19年8月期第1四半期	-	-	-	-
19年8月期	6,466	07	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年8月期第1四半期	5,170		1,560		30.2		65,007	40
19年8月期第1四半期	-		-		-		-	-
19年8月期	4,750		1,921		40.5		80,077	76

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年8月期第1四半期	△60		△664		616		847	
19年8月期第1四半期	-		-		-		-	
19年8月期	986		△1,846		1,188		956	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
20年8月期第1四半期	—	—
19年8月期第1四半期	—	—

3. 平成20年8月期の業績予想(平成19年9月1日～平成20年8月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	6,631	19.9	258	△31.2	278	△30.0	138	△29.4	5,774	79
通期	13,938	23.0	653	21.9	672	19.8	333	148.4	13,876	75

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年10月15日に公表しました業績予想は、中間期、通期とも本資料において修正しております。
- 当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績がこれと異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社の業績は、売上高2,791百万円、売上総利益141百万円、営業利益△290百万円、経常利益△274千円、四半期(当期)純利益△284百万円となりました。

当四半期の国内経済は、原油・原材料価格の高騰と米国のサブプライムローン問題に端を発する金融資本市場の混乱など不安材料がありましたが、新興国・資源国への輸出の好調、企業収益の安定、設備投資の増加及び雇用環境の改善などにより、景気は総じて好調に推移致しました。

一方で、個人所得が伸び悩むなか、新興国等による消費需要の拡大と資源価格の高騰に起因する各種生活必需品の価格上昇が広がり始めており、今後個人のサービス支出に対する抑制行動に繋がる懸念されるようになりました。

当社の中核事業であるカラオケボックス業界は、娯楽産業全体の伸び悩みと消費者ニーズの多様化のなかで、市場規模は僅かながら縮小傾向にあり、店舗の廃業も相次ぐ一方で、大手チェーン同士の競合は激しさを増してきております。

当社のカラオケボックス事業において、第1四半期（9月～11月）は、全ての月が営業面での閑散月にあたります。年末年始の繁忙期に備えこの期間中に、「カラオケ本舗まねきねこ」の新店を21店開設するとともに、既存店においてはカラオケ機器の新機種への入替などを、推進してまいりました。

その結果、カラオケボックス事業の売上高は2,754百万円、売上総利益は144百万円となりました。当四半期末の店舗数は251店となっております。

カーブス事業においては、当四半期は新規出店を行わず、既存店の会員増強と顧客サービスの向上に努めてまいりました。その結果、売上高は37百万円、売上総利益は△3百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産は前事業年度末比420百万円の増加となり、5,170百万円となりました。この増加は主に、「カラオケ本舗まねきねこ」の新規出店に伴う有形固定資産の増加524百万円によるものであります。

負債は前事業年度末比782百万円の増加となり、3,610百万円となりました。この増加は主に、長期借入金の増加308百万円、1年内返済予定長期借入金の増加205百万円及び未払金の増加229百万円によるものであります。

純資産は前事業年度末比361百万円の減少となり、1,560百万円となりました。この減少は主に四半期(当期)純損失284百万円及び剰余金の配当76百万円によるものであります。

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は109百万円減少し、847百万円となりました。当第1四半期におけるキャッシュ・フローは、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は60百万円であります。これは減価償却費236百万円及び未払金の増加82百万円、賞与引当金の増加64百万円などにより資金が増加した一方で、税引前四半期(当期)純損失274百万円及び法人税等の支払額150百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は664百万円であります。これは主に、「カラオケ本舗まねきねこ」の新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出614百万円及び長期前払費用の取得による支出53百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は616百万円であります。これは、長期借入金の返済による支出185百万円及び配当金の支払額61百万円により資金が減少した一方で、長期借入れによる収入700百万円及び短期借入金の純増額183百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の中核であるカラオケボックス事業は、売上及び利益の面での季節的な変動が大きく、忘年会シーズンを含む第2四半期（12月から2月まで）、ゴールデンウィーク（4、5月）を含む第3四半期（3月から5月まで）、及び帰省盆休みシーズンを含む第4四半期（6月から8月まで）と比較して、第1四半期は売上、利益ともに低水準となる傾向があります。

平成20年8月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成19年10月15日の決算発表時に致しました業績予想をこの度修正致しました。

詳細につきましては、本日（平成20年1月15日）別途開示しております「平成20年8月期業績修正のお知らせ」をご覧ください。

なお、1株当たり予想配当金（中間：一円一銭、期末：3,600円00銭）につきましては従来予想通りであり現時点での変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等及び引当金の計上基準等について一部簡便な方法を採用しております。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年8月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年8月期 第1四半期末)	(参考) 前期末 平成19年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)			
I 流動資産			
現金及び預金	—	886,780	993,994
売掛金	—	13,934	11,258
たな卸資産	—	68,268	63,872
前払費用	—	311,606	333,112
その他	—	87,562	113,157
貸倒引当金	—	△239	△128
流動資産合計	—	1,367,913	1,515,267
II 固定資産			
有形固定資産			
建物	—	1,443,741	1,298,840
構築物	—	96,176	73,298
器具及び備品	—	1,341,261	984,131
土地	—	160,802	160,802
その他	—	1,121	1,218
有形固定資産合計	—	3,043,103	2,518,292
無形固定資産			
ソフトウェア	—	27,935	17,796
その他	—	4,065	4,065
無形固定資産合計	—	32,000	21,862
投資その他の資産			
投資有価証券	—	33,873	35,293
出資金	—	30,270	30,270
破産更生債権	—	8,913	8,913
長期前払費用	—	129,575	87,460
敷金・保証金	—	527,301	487,460
その他	—	9,797	57,234
貸倒引当金	—	△11,833	△11,463
投資その他の資産合計	—	727,899	695,169
固定資産合計	—	3,803,003	3,235,324
資産合計	—	5,170,917	4,750,591

科目	前年同四半期末 (平成19年8月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年8月期 第1四半期末)	(参考)前期末 平成19年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)			
I 流動負債			
買掛金	—	125,524	130,787
短期借入金	—	183,400	—
1年内返済予定長期借入金	—	827,400	621,492
1年内償還予定社債	—	40,000	40,000
未払金	—	471,237	242,034
未払費用	—	406,618	417,732
未払法人税等	—	14,997	176,587
預り金	—	28,275	29,824
賞与引当金	—	172,800	108,000
その他	—	33,183	42,847
流動負債合計	—	2,303,436	1,809,306
II 固定負債			
社債	—	40,000	60,000
長期借入金	—	1,241,445	932,726
その他	—	25,857	26,693
固定負債合計	—	1,307,302	1,019,419
負債合計	—	3,610,739	2,828,725
(純資産の部)			
I 株主資本			
資本金	—	493,600	493,600
資本剰余金	—	483,600	483,600
利益剰余金	—	578,870	939,696
株主資本合計	—	1,556,070	1,916,896
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	—	4,107	4,969
評価・換算差額等合計	—	4,107	4,969
純資産合計	—	1,560,177	1,921,866
負債・純資産合計	—	5,170,917	4,750,591

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	(参考) 前期 平成19年8月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 売上高	—	2,791,968	11,332,751
II 売上原価	—	2,650,487	9,172,201
売上総利益	—	141,481	2,160,550
III 販売費及び一般管理費	—	432,434	1,624,928
営業利益	—	△290,953	535,621
IV 営業外収益	—	25,925	81,926
V 営業外費用	—	9,507	55,915
経常利益	—	△274,534	561,632
VI 特別利益	—	144	4,458
VII 特別損失	—	—	157,026
税引前第1四半期(当期)純利益	—	△274,389	409,064
税金費用	—	9,636	274,996
第1四半期(当期)純利益	—	△284,026	134,067

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	(参考) 前期 平成19年8月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第1四半期(当期)純利益	—	△274,389	409,064
減価償却費	—	236,164	626,208
減損損失	—	—	156,276
貸倒引当金の増減額(減少:△)	—	480	5,239
賞与引当金の増減額(減少:△)	—	64,800	15,698
受取利息及び受取配当金	—	△77	△4,739
支払利息及び社債利息	—	7,675	33,954
有形固定資産売却益	—	△131	△1,770
有形固定資産除却損	—	—	750
売上債権の増減額(増加:△)	—	△2,676	△6,321
たな卸資産の増減額(増加:△)	—	△4,395	△7,599
前払費用の増減額(増加:△)	—	25,640	7,881
仕入債務の増減額(減少:△)	—	△5,263	27,186
未払金の増減額(減少:△)	—	82,154	10,674
未払費用の増減額(減少:△)	—	△8,481	68,784
未払消費税等の増減額(減少:△)	—	△22,895	△28,847
その他	—	1,826	14,941
小計	—	100,432	1,327,382
利息及び配当金の受取額	—	49	1,620
利息の支払額	—	△11,120	△34,568
法人税等の支払額	—	△150,011	△307,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△60,649	986,518

	前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	(参考) 前期 平成19年8月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	—	△614,597	△1,751,077
有形固定資産の売却による収入	—	10,067	13,543
無形固定資産の取得による支出	—	△11,753	△390
投資有価証券の売却による収入	—	—	10,093
長期前払費用の取得による支出	—	△53,089	△17,785
保証金の差入による支出	—	△46,896	△133,801
保証金の返還による収入	—	6,164	15,358
定期預金の預入による支出	—	△2,102	△8,438
定期預金の払戻による収入	—	—	13,326
フランチャイズ加盟予約権の売却による収入	—	47,500	12,500
その他	—	△63	△275
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△664,770	△1,846,946
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(純減少:△)	—	183,400	△33,336
長期借入れによる収入	—	700,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	—	△185,373	△941,565
社債の償還による支出	—	△20,000	△40,000
株式の発行による収入	—	—	967,200
配当金の支払額	—	△61,923	△64,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	616,103	1,188,299
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	—	△109,316	327,870
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	956,660	628,790
VII 現金及び現金同等物の期末残高	—	847,344	956,660